

講義ユニット名	輸血医学	所属科目名	器官・システム病態制御学Ⅱ
講義ユニット 責任者	ふじい てるひさ 藤井 輝久	所属	病院輸血部
講義ユニット コーディネーター	ふじい てるひさ 藤井 輝久	所属	病院輸血部
授業方法	各コマの前半はパワーポイントを用いた講義形式、後半はQ&A及び解説、事例提示などを行う。また講義最終回の後半は理解度を深めるための小テストを行う。		
概要	医療を行う上で、輸血医学の重要性は高まっている。さらに近年の国家試験を見ても、関連する事項が問題に採用されている。輸血用血液は全て献血によりまかなわれており、日本は少子高齢化の影響を受けて慢性的な供給不足に陥っている。また感染症などの様々な副反応を来す。輸血を安全で適正かつ有効に使用・利用するために必要な知識を4回にまとめた。		
講義ユニットの 到達目標	血液製剤及び血漿分画製剤の種類と適応を説明できる。 血液型(ABO、RhD)検査、血液交差適合(クロスマッチ)試験、不規則抗体検査を説明できる。 輸血副反応、輸血使用記録保管義務、不適合輸血の防止手順を説明できる。 輸血の適正使用、成分輸血、自己血輸血、緊急時の輸血を説明できる。		
講義日程	別紙日程表を参照のこと		
出席の取り扱い	出席は出席状況把握システムと、講義内で行うQ&Aによりカウントする。 出席の取り扱いについては、血液学に準ずる。		
評価項目	到達目標の達成度 (基本的理解と知識の応用)		
評価法	試験(国家試験形式、血液学と合同)		
予習・復習への アドバイス	講義前後にスライドを確認し、必要に応じて参考書を用いて、内容の理解に努めること。		
推奨参考書	実践! 輸血療法Q&A(大坂顕通編, 中外医学社) ミニマム輸血学(大久保光夫 中外医学社) 日本輸血・細胞治療学会HP <a href="http://www.jstmct.or.jp/jstmct/">http://www.jstmct.or.jp/jstmct/</a> のe-learning		